

事業所名

にじいろPLUS

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

6日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個性を未来へと繋ぐ架け橋となる。 ・専門性を活かし安心を届け社会に貢献する。 ・利他の心をもってお互いの信頼関係を築く。 								
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども本来の伸びる力を尊重し、子ども自身が持っている力を信じ、のびのびと成長できるような支援。 ・子ども同士が交流できる環境をつくり、個人のベースに合わせた支援。 ・信頼関係を基盤とした支援。 								
営業時間	9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の過ごし方や生活習慣が身につくよう、個別の目標に合わせて支援・助言を行い、定着を図る。 ・食事前や外から帰った後の手洗いの習慣や、寒暖差による衣類の着脱など、身だしなみについて助言を行い、適切に行えるよう支援する。 ・定期的な排せつを促せるよう適宜声掛けを行う。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や職員との交流の中で粗大運動を行い、体幹やバランス力を養う。 ・職員が手助けしながら糊付けやセロテープの使用を習熟する。 ・ペンや鉛筆、筆などの筆記具の経験を重ね書くことの基礎を作る。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しいものがある時、発声やジェスチャーで相手に確認を取れるよう伝えていく。 ・お絵描き活動や遊びを通して、丸や三角、四角などが描けるよう支援を行う。 ・帰りの時間を意識し、自ら準備、行動できるよう声掛けしていく。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員から積極的に挨拶を行い、挨拶を返すことができるよう、インプットからアウトプットへのステップで挨拶の定着を図る。 ・落ち着いて考えを伝えられるよう、一つ一つ相槌を打ち会話の間を広げていく。 ・自分の伝えたいことを相手に上手に伝えられるよう、支援員がまずは聞き役となり、話を引き出していく。 ・排せつをしたことを職員に伝えられるよう、声掛けしていく。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちとの関わりに職員が関わり、貸すこと、借りることの経験を積ませる。 ・他児の近くで活動が行えるよう設定し、周囲への興味・関心を高める。 ・様々な活動、遊びの経験を重ね、楽しい事、自信をもって行える事を増やしていく。 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携しながら進学、卒業のイメージを持てるよう支援を行う。 ・保護者会の開催などにより、保護者間での交流の機会を設ける。 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談を設定し、進学や卒業後について保護者と情報を共有する。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント活動などを通して、地域と関わる機会を設ける。 				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・月に3度外部講師をお招きして、職員力量向上の研修を行っている。 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・制作活動や食育活動などの所内活動 ・トランポリン、公園遊びなどの所外活動 ・夏祭り、クリスマス会などの季節活動 								